

報道関係各位

2026年3月3日
グリーン株式会社
東京エレクトロン デバイス株式会社

鹿児島県南種子町での IoT 農業支援を展開 農業 AI/IoT ソリューション「e-kakashi」導入で収穫量倍増の成果も

グリーン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 CEO:戸上 崇、以下グリーン)と東京エレクトロン デバイス株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長・CEO:徳重 敦之、以下 TED)は、鹿児島県南種子町において、農業 AI/IoT ソリューション「e-kakashi」を活用した地域農業活性化を支援しています。

南種子町では、農業従事者の高齢化や人手不足に加え、経験や勘に依存した栽培管理による収量・品質のばらつきが課題となっていました。気象条件の変化による影響も大きく、安定的な生産と品質確保が求められていました。こうした中、データに基づく栽培管理を実現する農業 AI/IoT ソリューションとしてグリーンの「e-kakashi」が採用され、地域全体でのスマート農業の実装が進められています。

グリーンが開発・提供する「e-kakashi」は、圃場に設置したセンサーを通じて温度・湿度・日射量などの環境データを収集し、クラウド上で解析することで、栽培管理の最適化を支援するソリューションです。TED は、「e-kakashi」で採用されている IoT ゲートウェイ(センサーモジュール)をグリーンに提供し、「e-kakashi」の製品化に向けた最適化・信頼性向上の観点から、開発段階から共同で検証・技術支援を行ってきました。圃場に設置された IoT ゲートウェイは、畑から取得した環境データを安定的にクラウドへ送信する役割を担い、「e-kakashi」のサービス基盤を支えています。

本取り組みは、TED のパートナー企業である株式会社シーズテクノロジー(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:坂口 浩太郎、以下シーズテクノロジー)が運営する「シーズファーム」での「e-kakashi」導入を契機に始動しました。シーズテクノロジーを介して、南種子町と連携し、行政・企業・生産者が一体となった地域ぐるみのプロジェクトへと発展しています。なお、今回南種子町において確認されている成果も、シーズファームでの導入実績をきっかけに広がった取り組みの延長線上に位置づけられます。

南種子町における導入概要

南種子町では 2025 年 7 月より、まず町内 24 戸の農家(主な作物:パプリカ、オクラ、レザリーフファン、マンゴー)に「e-kakashi」が導入されました。さらに同年 9 月からは、カボチャを栽培する 6 戸が加わり、合計 30 台の機器が町内の圃場で稼働しています。



実績・効果

- ・導入先ファームにて、パプリカの年間出荷量が倍増（前年約 4 トン→約 8 トン見込み）
- ・気象条件の影響を抑えた収量の安定化と品質向上
- ・熟練農家と新規就農者の栽培結果の平準化と定着支援
- ・「e-kakashi」による成果および TED の IoT ゲートウェイ提供・最適化支援による安定稼働
- ・南種子町内 30 戸でのデータ活用による地域農業の底上げと持続可能な営農体制の構築
- ・平山小学校で ICT 学習を実施し、環境データを題材に課題発見と解決力の育成を推進
- ・地元で培われた科学的な栽培知見とデータ活用の実践を、学びの場へ還元する仕組みを構築

今後の展望

グリーンは、「e-kakashi」の機能拡張やサービスの高度化を通じて、生産者の収益最大化と持続可能な農業の実現を支援、また、行政や地域パートナーとの連携を深めることで、地域農業が抱える人手不足や技術継承、気象リスクといった課題への対応を強化し、日本各地でのスマート農業の普及・拡大に貢献していきます。

TED は、IoT ゲートウェイの提供と最適化・検証支援を通じて、「e-kakashi」のサービス基盤を技術面から支えています。

導入事例顧客からのコメント

南種子町役場 総合農政課長 山田 直樹 様

「南種子町では、農業従事者の高齢化や人手不足、天候に左右されやすい収量のばらつきなど、さまざまな課題を抱えてきました。今回、グリーン様の『e-kakashi』を町内の農家に導入することで、圃場の状態をデータで“見える化”し、客観的な情報にもとづく栽培管理に取り組み始めています。

一部の圃場では、すでに収量や品質の改善が確認されており、今後、町全体でデータを共有・活用することで、農業の生産性向上と若い担い手の育成につなげていけると期待しています。行政としても、こうした取り組みを積極的に支援し、地域の魅力と産業の持続的な発展につなげていきたいと考えています。」

株式会社シーズテクノロジー 代表取締役社長 坂口 浩太郎 様

「当社が運営するシーズファームでは、グリーン様の農業 AI/IoT ソリューション『e-kakashi』の導入により、パプリカの年間出荷量が栽培初年度（2024 年度）に約 4 トン、2 年目（2025 年度）には約 8 トンに達する見込みです。収量の安定化と品質向上に加え、環境データをもとにした栽培管理によって、経験値の異なるメンバー間でも判断基準を共有できるようになり、新規就農者の支援という観点でも大きな手応えを感じています。

今後は、南種子町全体で蓄積されるデータを活かしながら、地域農業の底上げに貢献していきたいと考えています。」

【グリーン株式会社について】

グリーン株式会社は、「科学とイノベーションの力で自然とヒトをつなぎ笑顔を創造する」を掲げ、農業 AI/IoT ソリューション「e-kakashi」の開発・提供を行っています。圃場の環境データと栽培知見を組み合わせたクラウドサービスを通じて、科学的根拠に基づいた栽培を支援し、気候変動などで勘と経験を活かしにくい場面でも最適な栽培の判断をアシストすることで、生産者の収益向上と持続可能な農業の実現に貢献します。

URL: <https://www.greein.jp/>

【東京エレクトロン デバイス株式会社について】

東京エレクトロンデバイスは、メーカーと技術商社の力で潜在的な社会課題を解決する会社を目指し、半導体や IT を中心とする最先端テクノロジーの社会実装を推進しています。技術商社として培った先進的な製品・サービスの発掘、メーカー機能の強化による革新的なソリューションの開発を通じて、超スマート社会の実現と持続的な発展に貢献します。

URL: <http://www.teldevice.co.jp/index.html>

NewsRelease



<本件に関するお問い合わせ先>

グリーン株式会社
TEL:03-4500-1441
E-mail:hello@greein.co.jp

東京エレクトロン デバイス株式会社
マーケティングコミュニケーション部 広報グループ
お問合せフォーム:<https://www.teldevice.co.jp/cgi-bin/form/contact.php>

※ このニュースリリースに記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。